

## 令和元年度職業能力開発論文コンクール「受賞者の声」

受賞者：特別賞（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞）  
竹口 浩司 氏

所属：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 島根支部  
中国職業能力開発大学校付属 島根職業能力開発短期大学校

テーマ：高度で専門的な技能の維持・継承

論文名：地域との融合による技術・技能の維持・継承



普段はどのような業務に携わっていらっしゃいますか。

住居環境科で、建築計画や設計の分野を教えています。また、江津市の都市計画審議会などにも参加する一方、地域の空き家の活用等の市民活動にも参加しています。

今回の論文を執筆された心境やきっかけをお聞かせください。

私自身、今回の内容を率先して論文に書く予定は立てておりませんでした。上司が背中を押してくれたことがキッカケとなりました。そして、地域実践活動に総合制作実習を連携させる取組に、ご協力いただいた江津市の方々へ恩を返したい思いで執筆しました。今回の受賞により、この論文を通じて島根県江津市を多くの方々に知ってもらう機会が得られたことは、大変喜ばしく思っています。

多くの方に知ってもらいたい取組があれば応募すべきだと思いました。

今回の論文はどういった方に読んでいただきたいですか。

新建材ではなく昔の技術や技能を再評価し、素材に向き合い、地域に向き合う、そのような方に読んでいただきたいです。

今回の論文はどのような業務に活用してもらいたいですか。

地域に密着した取り組みの中で、地域らしさを考えるような業務があったら参考にして

いただきたいです。

また、学生に対しては本論文を機に、建築で使用する建材を工業製品のカタログから学ぶだけでなく、その素材の本質や受け継がれてきた技術や知識も学んでいただきたいです。

今回の論文を作成する際に気を付けたことはございますか。

本論文は、活動報告的な側面がありますが、それだけにならないよう技術の維持や継承に関して地域の特性を活かし、読んでいただいた方に各地域らしさを再認識していただけるような内容にすることを心掛けました。

最後に、追記したいことはございますか。

本取組で取り上げた地域の技術や素材等の活用は、他の地域ではできないかもしれませんが、地域に有るものをもう一度見直すことにより、地域によっては全く別のやり方を見出せると思います。その事例として参考にさせていただければ幸いです。